

いすみブルーベリー振興会の取り組み

～生産性の向上と地域活性化を目指して～

夷隅農業事務所改良普及課 令和3年8月5日発

いすみブルーベリー振興会では、46名の会員が、ブルーベリーを5.6ha栽培しています。ラビットアイ系品種の収穫期（7月中旬から8月下旬）を迎えるに当たり、7月10日に会員のほ場見学会が開催されました。見学会では収穫時の裂果対策のための雨よけ方法等について意見交換の他、現在、農業事務所で行っている針葉樹樹皮栽培※の実証試験の生育状況の報告を行いました。参加者からは、「自分の園でも針葉樹樹皮栽培に取り組んでいるが、生育は良好だ。」、といった声が聞かれ、生産者も手ごたえを感じている様子でした。同振興会では、市場出荷や直売、摘み取り園の他、ふるさと納税返礼品、無印良品銀座店等様々な販路へ出荷・販売しています。農業事務所では、今後も講習会や研修会などを通じて、ブルーベリーの安定生産・安定販売に向けた活動を支援していきます。

※針葉樹樹皮を厚さ30cm、幅2mに敷き、その上にブルーベリー苗木を植える方法。



ほ場で意見交換を行う生産者



大粒で甘い果実ができました